

12月の花

ヤブツバキ

さびしい冬の森で、原色のヤブツバキの花はひととき鮮やかです。厚ぼったい赤い花弁、黄色い花粉にまみれたおしべそして濃い緑の葉はいつもつやつやと光っています。

ヤブツバキは照葉樹林の代表的な低木ですが、庭にもよく植えられ、12月から4月頃まで花が咲き続けます。ヒヨドリやメジロが蜜を吸いによくやってきますが、その時、小鳥達のくちばしや顔に花粉がつき、他の花に運ばれていきます。



1月の行事

○岡崎・城島地区自然観察会

日時 1月27日(日) 午前10時～
雨天中止

対象 岡崎・城島地区にお住いの皆さん、参加を希望される方は、申し込みは不要ですので、27日10時に岡崎公民館前に集合してください。持物(弁当・水筒・筆記用具)・服装(ハイキング程度・十分な防寒具を)・コース等(鈴川と岡崎台地周辺で野鳥・植物・地形などを観察)

○星を見る会

冬の星雲星団を見よう

日時 1月19日(土)午後17～19時
申し込み 1月10日までに往復ハガキで、
定員 30名 多数の場合は、抽選で

○体験学習シリーズ NO39

「陶器を作ろう」

日時 1月16・17・18・19・23・24
日 午前10時から午後3時まで。
定員 30名 応募多数のときは抽選で、
申し込み 1月9日までに往復ハガキで。

12月の行事

- 体験学習シリーズN037
原色ドライフラワーを作ろう
日時 12月2日(日)

- 体験学習シリーズN038
おかざりを作ろう
日時 12月16日(日) 10時～3時

- 自然観察会
冬の自然をたずねて(震生湖)
日時 12月23日(日) 9時～4時

- 星を見る会
太陽黒点を調べよう
日時 12月9日(日) 11時30分～1時

○屋外展示紹介—箱根町仙石原出土の神代杉

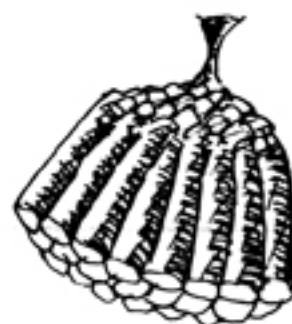
博物館駐車場の前の芝生に、箱根の神代杉が新しく展示されています。この神代杉は神奈川県西湘下水道整備事務所が行なっている仙石原終末処理場工事現場で多数発掘されたものの一部を譲り受けてきたものです。展示されている神代杉は出した木材のうちでも最大級のもので、樹令700年もあり、直径150cm、高さ200cm、重量は4.4トンもあります。この木は年代測定によって3000年ほど前に死滅したものであることがわかっています。また、この木の切り口にはチョウナのようなもので削ったあとがみられました。

このような事実とこの木が出土した地点の地質を考えあわせると、この木が埋もれた経緯が次のように推定されます。すなわち、この神代杉は、3100年前の神山山崩れによって、山麓に生育していたものが埋められたものと考えられます。神山山崩れは神山の非常に大規模な崩壊で、この山崩れ堆積物により早川がせき止められて芦ノ湖が出現しました。現在みられる大湧谷の冠ヶ岳はこのあとでできましたものです。そのうち、この神山山崩れ堆積物中の神代杉を、江戸時代(1700年以降)の人々が掘りおこして箱根細工に用いたことが、古文書より明らかになっています。木の切り口に見られた削りあとは、その事実を物語っています。

(文書 森 慎一)

○アシナガバチの巣を送ってください

庭や軒下によく巣を作るアシナガバチにはいろいろな種類がありますが、市街地ほど種類が少なく、また巣の大きさが小さいことが知られています。平塚市内での分布のようすを調べるため、この冬、アシナガバチの巣(巣は1年しか使いませんから、冬のはもう使わない巣です)を、できるだけたくさん集めることを計画しました。皆さんの自宅でもし巣が見つかったら、柄が折れないようにいねいに取り、封筒に入れて博物館まで送ってください。形はつぶれてもかまいません。また住所とお名前を忘れずに書いてください。ご協力いただいた方には後日、結果の報告をお送りします。



○奇贈品コーナー展示替えのお知らせ

サマーセミナー展の展示に替わって、今月1日より館所蔵である二見利節の作品を前回(6月～9月)に引続いて展示いたします。期間は、12月より1月までを予定しております。